

(様式2)【発表要旨】

＜発表者＞ 指導区名:南薩指導区 氏名:松崎 和徳

1 発表テーマ

南薩地域における森林整備の推進

2 テーマの趣旨・目的

南薩地域は、森林組合が地域の森林整備・管理の担い手として中核的な役割を果たしている。

しかしながら、間伐を推進する組合職員の事業区域の広域化、組合作業員の退職等により担い手が減少している一方で、松くい虫防除事業の実施、国有林の森林整備受託、太陽光発電施設整備に伴う伐採の増加など、森林整備以外の業務も多く抱えている。

また、新たに森林整備に取り組もうとする一人親方的な林業事業体(以下「事業体」)が出てきているが、規模拡大を望んでいるものの、新規就労者が確保できないことや、新規の事業量確保が難しい等様々な要因があり、間伐を実施することが難しい状況にある。

このため、森林組合に対しては、更なる森林整備実施に向けた取組の強化を図ることや、事業体については、スギ・ヒノキ人工林の整備を推進するため、各種の林業技術の普及・指導を行い、更なる間伐の実施に向けた取組について報告する。

3 現状及びこれまでの取組みの成果・課題

① 成果

- 森林組合に対して、過去の施業履歴及び森林経営計画箇所並びに森林経営管理制度箇所の図示化により、一体的な森林整備を行い、低コスト林業の実践に向けた取組について指導・助言を行っている。
- 事業体に対して、スキルアップ研修を実施
 - 1 事業体育成研修
 - 管外において経営規模を拡大している事業体との交流
 - これまで27人が参加、研修参加後、管外事業体との情報共有が図られている。
 - 2 森林作業道作設研修
 - 森林作業道の施工管理及び作設オペレーターの実践的な研修
 - これまで14人が受講し、それぞれの事業体のオペレーターとして、低コストで壊れにくい森林作業道が整備されている。
 - 3 森林経営プランナー地域実践研修
 - 提案型施業のための現地調査、プラン書作成の研修
 - これまで5人が受講し、森林所有者へのプラン作成による間伐推進が図られている。
 - 4 事業体への個別指導
 - ・指導林家 塗木氏への指導(今後の普及活動、新たな担い手育成対策への協力)
 - ・株式会社 協和への指導(みんなの森づくり県民税関係事業を活用した間伐実施)

・尾山林業 株式会社への指導(森林経営計画を作成した森林整備推進)

5 県民税関係事業等による間伐の推進

事業体への働きかけにより、間伐に取り組む事業体が増え、間伐実施面積が増加した。



② 課題

間伐等推進のための事業体育成

- ・経営安定化を図るための事業量確保と、併せて規模拡大・従業員の確保
- ・森林経営計画作成による計画的な間伐等の森林整備の推進
- ・認定林業事業体への認定による新規就業者の確保・育成

4 今後取り組むべき内容

① 具体的手法又は検討方向

間伐等推進のための事業体育成

- ・各種研修会等による事業体のスキルアップ
- ・組合自身の事業量確保を図りながら、事業体との連携
- ・森林組合及び各事業体との横の連携を図りながら、各補助事業等を活用
- ・森林組合・事業体・各市との今後の森林整備を検討する場として WG を構築

② 理由

間伐等推進のための事業体育成

事業体は、経営基盤が脆弱であり、基盤強化のため、担い手育成や省力化施業のための新たな林業技術等の情報提供、支援が必要

各市における森林環境譲与税を活用した支援策

- ・技術研修・技能講習等に参加する場合の研修手当の支給
- ・労働安全装備品等の機械器具等の購入支援
- ・高性能林業機械の活用支援
- ・市への委託を希望された私有林の計画的な間伐の実施

③ 期待する成果

当管内においては、数少ない事業体間の連携が不可欠であり、市・振興局・森林組合・事業体の情報共有・連携を欠かすことはできない。

多くの事業体を育成することにより、関係者が一体となって、南薩地域の森林を自分達で守る意識を高めて行くことに期待。